

施工説明書

エントランスポール

Archi Frame Itype

アーキフレーム

このたびは、パナソニック製品をご採用いただき、まことにありがとうございます。

- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工、ご使用ください。
- 施工前に「安全上のご注意」(2ページ)を必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 電気配線工事は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に行ってください。配線工事は、電気工事士の資格が必要です。
- 梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。
- 取扱説明書は必ず施主様へお渡しいただき、使用方法、メンテナンスなどの説明をしてください。

もくじ

●安全上のご注意	2
●施工上のご注意	2
●部品表	3
●納まり図	4
●施工前の確認	5
●施工手順	6
柱の加工	6
宅配ボックス取り付け	8
柱の穴加工	10
照明ユニットの施工	11
ポストの施工	14
ドアホンの施工	15
Lアングルの取り外し/ 柱キャップの取り付け	裏表紙
●施工後の確認	裏表紙



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。

警告



分解禁止

商品の仕様および用途変更・改造は絶対にしない

けがの発生や事故のおそれがあります。



必ず守る

商品の施工は、施工説明書に従い確実にを行う

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意



必ず守る

LEDユニットの、100V電源は漏電ブレーカーを介して接続し、D種(第3種)接地工事を必ず実施する

感電事故のおそれがあります。

主電源を切ってから施工を行う

感電のおそれがあります。

専用の漏電ブレーカーを室内側に設置する

ポール下部の水抜き穴はふさがない

雨水の浸入により漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。



必ず守る

施工後、ねじ類の締め具合をもう一度点検する

ねじ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、故障の原因となります。

部材が重量物の場合、運搬・取付作業は2人以上で行う

けがのおそれがあります。

積雪地域でのご使用の場合は、積雪期間、雪に埋もれないように除雪する

器具破損の原因となることがあります。

施工上のご注意



禁止

通行の妨げとなる場所には設置しないでください。けがの原因となります。

※特に扉・宅配ボックスの扉を開いたときに道路や通路の通行の妨げにならないようご注意ください。

商品にはぶら下がらないでください。

けが・故障の原因となります。

固いものを当てたり、強い衝撃を与えないでください。

表面に傷をつけますと、腐食の原因となります。

モルタル急結剤、海砂などでは使用しないでください。

故障の原因となります。

ホースによる直接の水洗いはしないでください。

けが・故障の原因となります。

施工時の汚れ落としにシンナー、塩酸などは使用しないでください。

腐食の原因となりますので中性洗剤を使用してください。



必ず守る

基礎穴および埋め込み深さは基準通りに設けてください。

強度不足によりけがのおそれがあります。

商品に付着したリシンやモルタル・コンクリートなどは速やかに清掃してください。

塗装がはげたり、腐食の原因となります。

アルミ製品に銅板やラスなどの異種金属が接触しないように絶縁処理をしてください。

アルミの腐食促進作用があります。

ポール内への水たまり防止のため、基礎部に栗石を敷いてください。

電気部品の故障の原因となります。

部品表

品名	品番	同梱部品	入数
標準6本セットクールシルバー色	CTPR179CS	標準6本セットクールシルバー色	1
		柱キャップ	6
標準6本セットダークウッド色	CTPR179MW	標準6本セットダークウッド色	1
		柱キャップ	6
追加柱(1本) クールシルバー色	CTPR17901CS	追加柱(1本) クールシルバー色	1
追加柱(1本) ダークウッド色	CTPR17901MW	追加柱(1本) ダークウッド色	1
宅配ボックス固定金具	CTPR1792	宅配ボックス固定金具	左右各1
		宅配ボックス固定金具取付裏板(L117)	2
		宅配ボックス固定金具取付ねじ(M6×8)	6
		宅配ボックス側面取付裏板	4
		宅配ボックス側面取付ねじ(M6×8)	4
		止水用パッキン	4
ポスト固定金具 背面設置用	CTPR1793	ポスト固定金具(L40)	4
		ポスト取付ねじ(M6×8)	4
		止水用パッキン	4
EEスイッチ台座*	CTPR1794	EEスイッチ台座	1
		入線側ブッシュ	1
		出線側ブッシュ	1
		ドリリングねじ(φ4×19)	3
ドアホン固定台座	CTPR1795	ドアホン固定台座	1
		ブッシュ	1
		ドリリングねじ(φ4×19)	2
照明ユニットクールシルバー色	CTPR1791CS	照明ユニットクールシルバー色	1
		照明ユニット固定アングルクールシルバー色	1
		インシュロックタイ	2
		ドリリングねじ(φ4×13)	12
照明ユニットブラウン色	CTPR1791M	照明ユニットブラウン色	1
		照明ユニット固定アングルブラウン色	1
		インシュロックタイ	2
		ドリリングねじ(φ4×13)	12

*EEスイッチはEE4518S (EE4818Q) の使用を推奨します。

必要な工具・資材

- プラスチックハンマー
- 電動ドライバー
- ニッパー
- ローブ
- プラスドライバー
- ホールソー(φ30、φ18)
- ラジオペンチ
- 木材
- マイナスドライバー
- メジャー
- 圧着ペンチ
- モンキーレンチ
- 水準器
- ビニールテープ

取り付けられるポストの種類

<正面・裏面どちらでも取り付け可能>

- クリアス-FF
- フェイスス-FF

<正面のみ取り付け可能>

- ユーロバック

※正面取り付けの場合、ドリリングねじ(φ4×19) 4個の現場手配が必要です。

※背面取り付けの場合、CTPR1793が必要です。

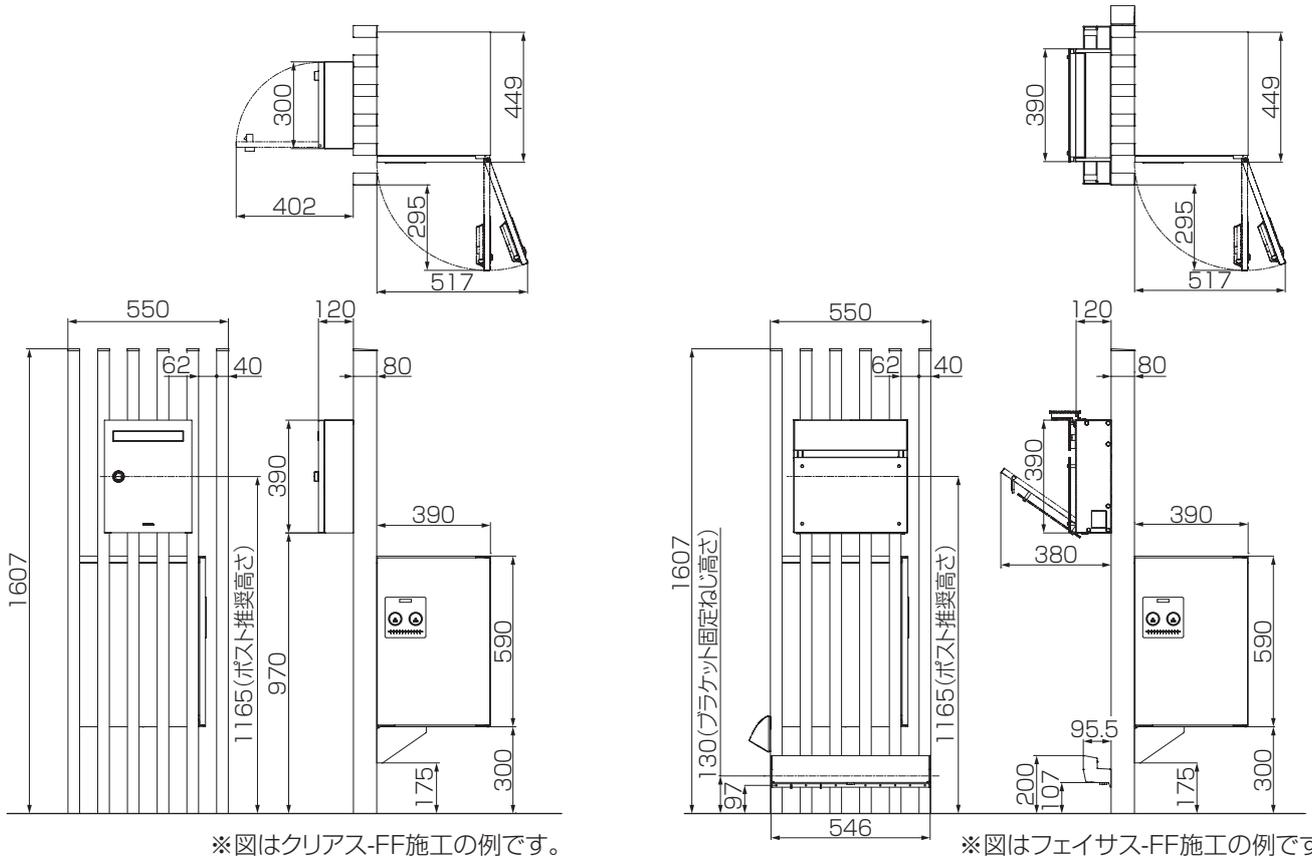
取り付けられる宅配ボックスの種類

コンボミドル前出しのみ

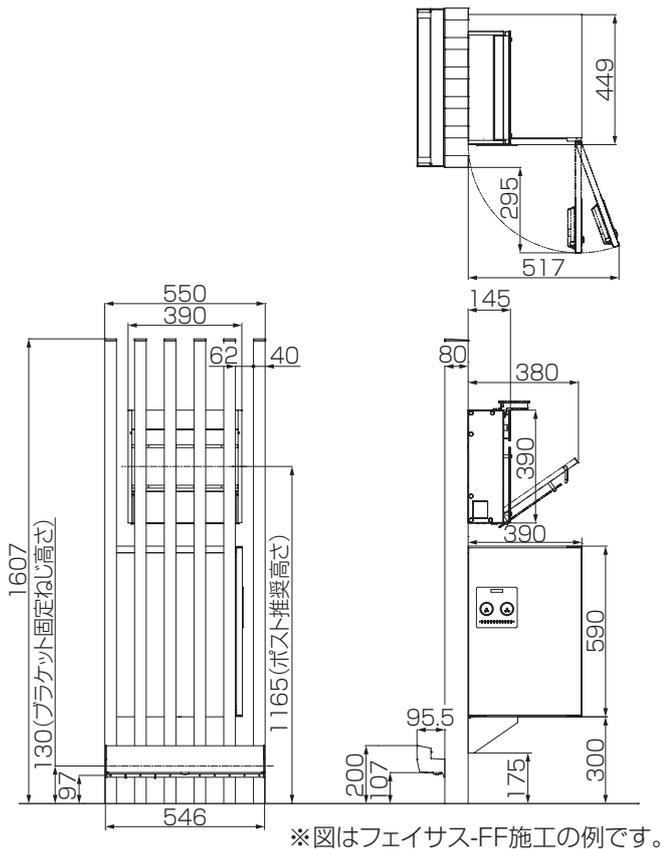
納まり図

[寸法単位：mm]

＜ポストを正面に取り付ける場合＞



＜ポストを裏面に取り付ける場合＞



施工前の確認

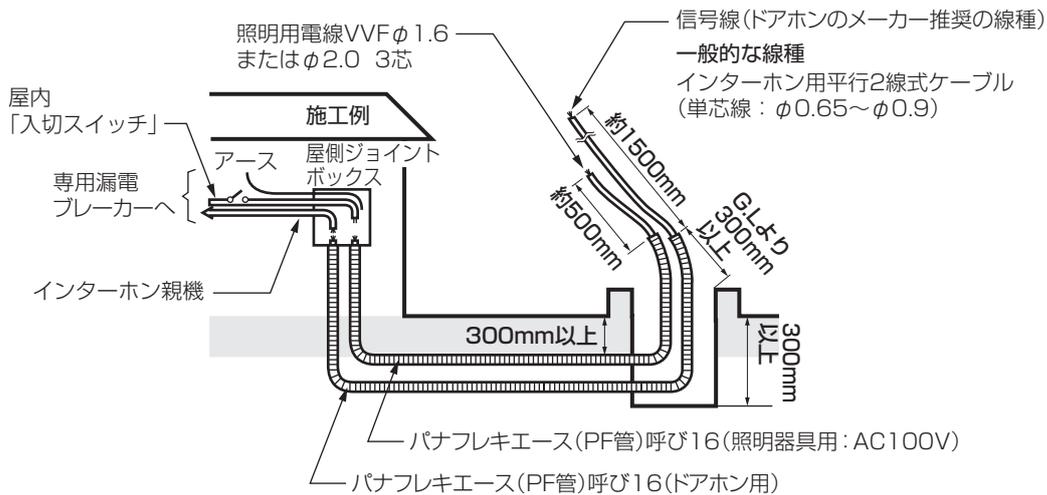
電気配線工事

はじめに

- 電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
- 照明用電線と信号線は電線管による離隔が必要です。
- 照明用電線は、VVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線含む）を準備してください。
- 信号線（ドアホン、カメラドアホン用）は、ドアホンのメーカー推奨の線種を準備してください。
一般的な線種は、インターホン用平行2線式ケーブル（単芯線：φ0.65～φ0.9）です。
- 接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。
- 室内に「入切スイッチ」を別途に設けてください。

配管工事（各部材は現場手配となります）

- ポール建て位置へあらかじめPF管を埋設してください。



注意



必ず守る

電線管(PF管)埋設工事については、
内線規程に従う

4 埋め戻し

コンクリートで埋め戻し固定する。

※横方向に動きがある場合、中心位置に合わせてください。

注意

※GLラインより深く埋め込まないでください。

雨水の侵入により漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。

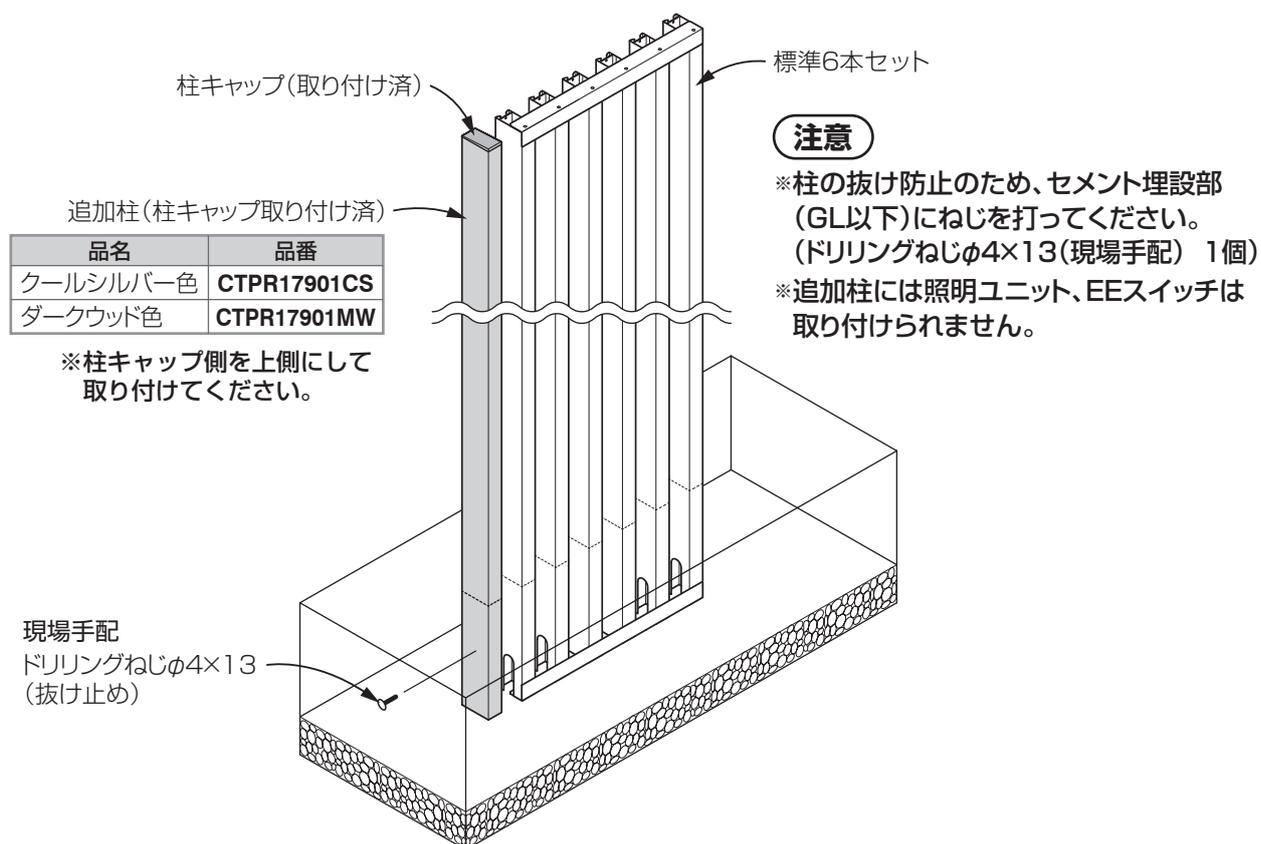
※水抜き穴をコンクリートや土砂でふさがらないでください。

雨水の侵入により漏電、完全、故障、腐食などの原因となります。

万が一埋めた場合は、GLより上に同一形状で追加の穴を必ずあけてください。

※上側の柱固定Lアングルはセメントが固まるまで外さないでください。

追加柱を施工する場合



施工手順

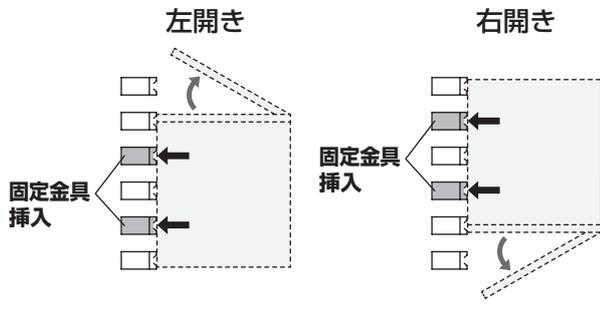
宅配ボックス取り付け

各部位の施工はセメント硬化後に行ってください。

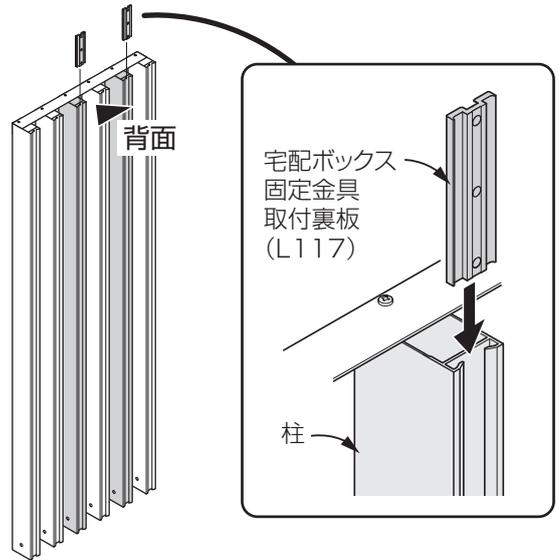
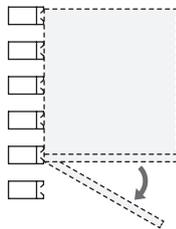
1 宅配ボックス固定金具取付裏板(L117)、宅配ボックス固定金具の挿入・固定

1. 宅配ボックス固定金具取付裏板(L117)2枚を柱の溝部に挿入する。

※宅配ボックスの右開き・左開きにより、宅配ボックス固定金具を挿入する柱が異なります。



✕ 扉の吊元が柱側にくる取り付けは不可



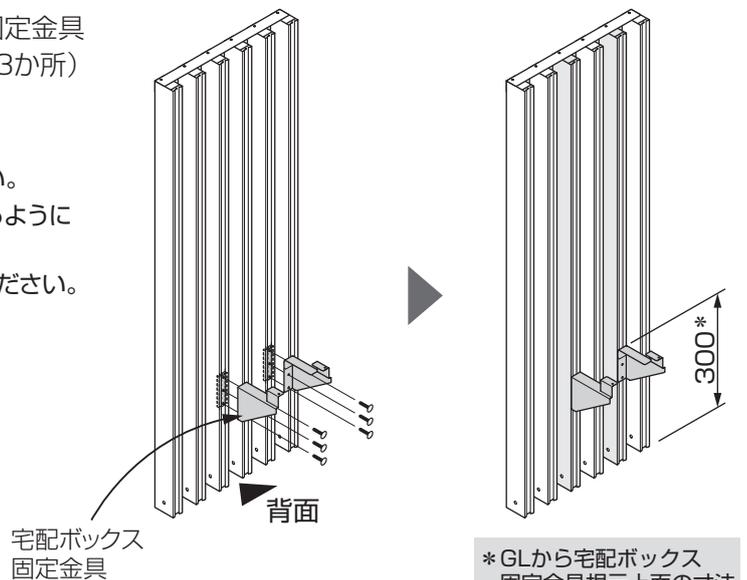
2. 宅配ボックス固定金具(L)・(R)を、宅配ボックス固定金具取付裏板(L117)にM6×8ねじで固定する。(各3か所)

※締付トルク5.2Nm以上

※横方向に動きがある場合、中心位置に合わせてください。

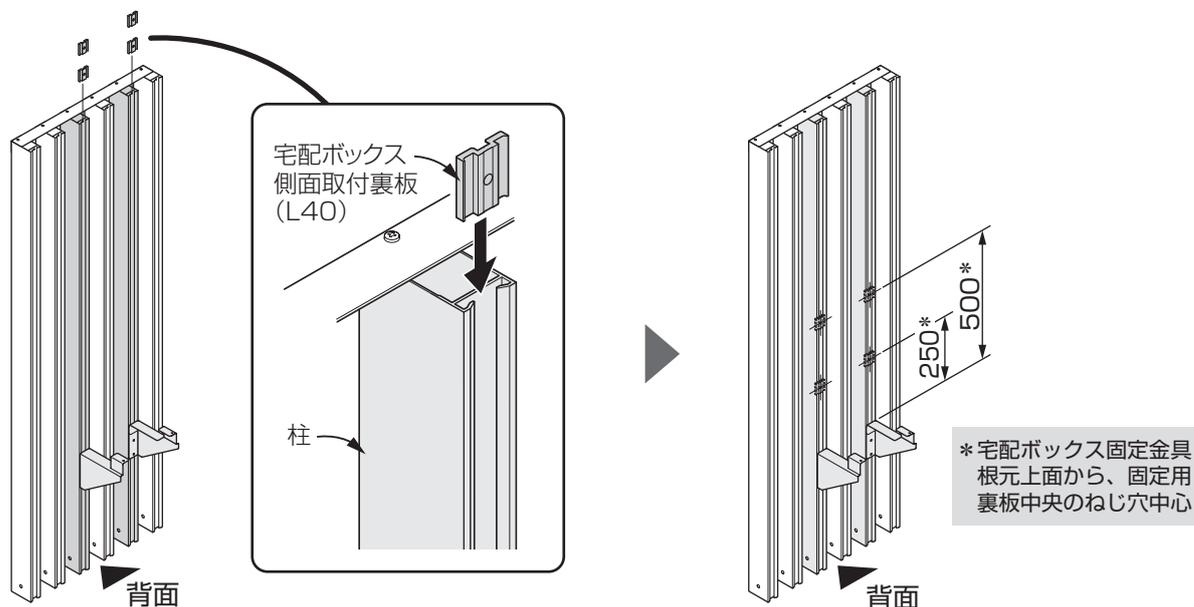
※左右の宅配ボックス固定金具の上面の高さが同じになるように固定してください。

※宅配ボックス固定金具を固定するときに、水平を出してください。



2 宅配ボックス側面取付裏板（L40）の挿入

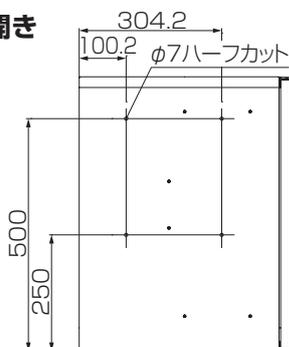
宅配ボックス固定金具取付裏板(L117)と同じ柱に、宅配ボックス側面取付裏板(L40)を各2枚挿入する。



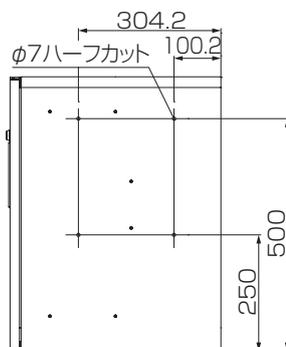
3 本固定

1. 宅配ボックス側面に $\phi 7$ のノックアウト穴をあける。(4か所)

●右開き



●左開き

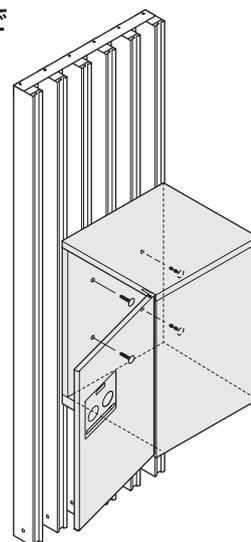


注意 ※宅配ボックスに $\phi 7$ ノックアウト穴がない場合は、同じ位置に $\phi 7$ の穴をドリルであけてください。(旧仕様の場合ノックアウト穴がない場合があります。)

2. 宅配ボックスを宅配ボックス固定金具に乗せ、宅配ボックス内側からM6×8ねじで固定する。(4か所)

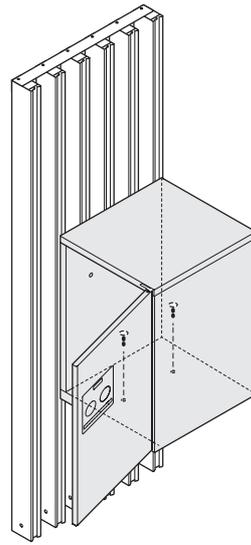
※締付トルク5.2Nm以上

注意 ※必ず止水用パッキンをねじにはめてからねじ止めしてください。



施工手順

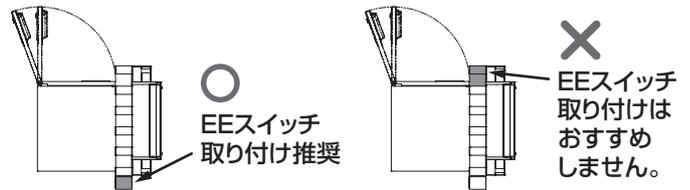
3. 宅配ボックス底面を宅配ボックス固定金具にM4×8ねじで固定する。(2か所)



柱の穴加工

EEスイッチ、ドアホン子機を取り付ける場合は、柱に穴加工をしてください。

注意 ※追加柱にEEスイッチやドアホン子機の取り付けはできません。



EEスイッチ

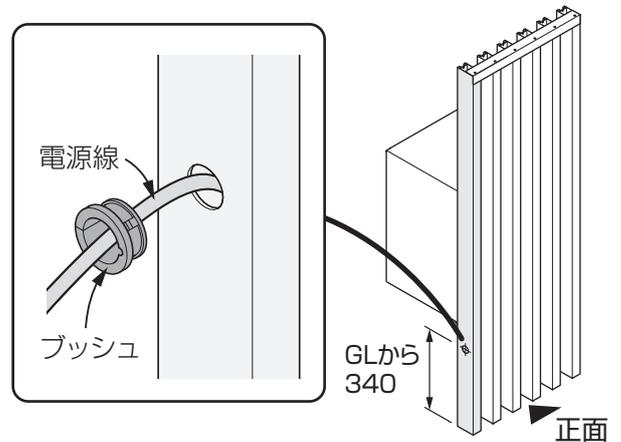
1. 柱側面のEEスイッチ取り付け個所にφ30の穴をあける。
2. 電源線を針金(現場手配)を用いて穴から出す。
3. ブッシュで穴のエッジを保護する。(EEスイッチ取付金具セットに同梱)

※EEスイッチは宅配ボックスの背面側の柱への取り付けを推奨します。(前面側の柱に取り付けると宅配ボックスの扉がEEスイッチに干渉することがあります。干渉する場合は取付位置をずらしてください。)

※EEスイッチ取付個所は、各現場に応じて影にならないようにしてください。

※宅配ボックスの扉がEEスイッチに干渉しないようにしてください。

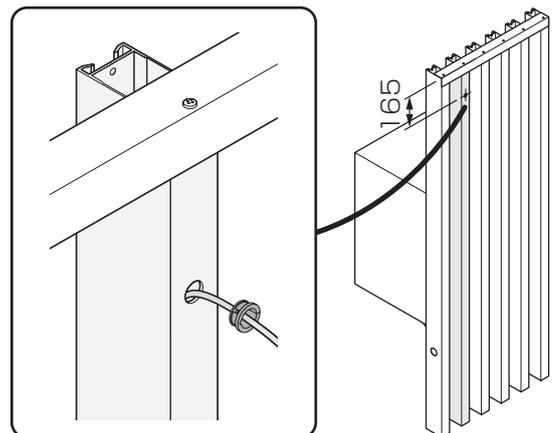
※EEスイッチ下端がGLより300mm以上になるように取り付けてください。



ドアホン子機

1. 柱正面のドアホン子機取り付け個所にφ18の穴をあける。
 - ドアホン子機取り付け柱位置
外側から2本目への取り付けを推奨しています。

2. 信号線を針金(現場手配)を用いて穴から出す。
3. ブッシュで穴のエッジを保護する。(ドアホン子機取付金具セットに同梱)



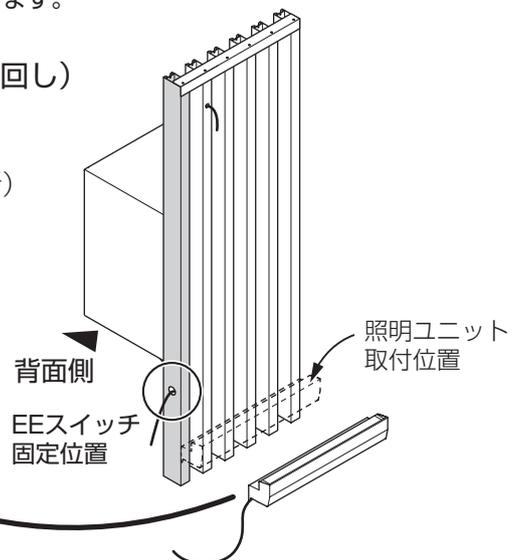
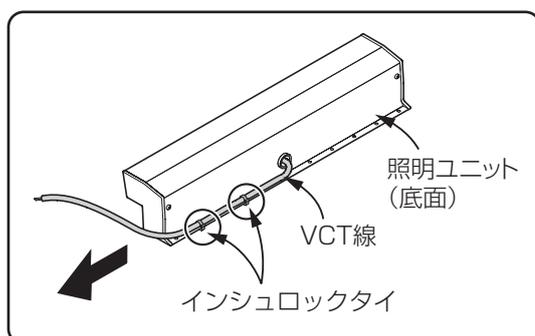
照明ユニットの施工

電気配線工事は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に行ってください。
配線工事は、電気工事士の資格が必要です。

※EEスイッチがない場合は、照明ユニットへ電源を直接繋げることになります。

1 照明ユニットVCT線引き回し①（露出部引き回し）

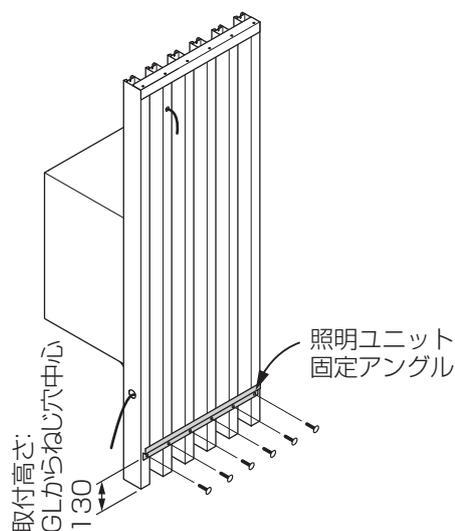
EEスイッチを固定する柱方向へ照明ユニット中央から出ているVCT線を引き回し、同梱のインシュロックタイで固定する。(2か所)



2 照明ユニット固定アングルの固定

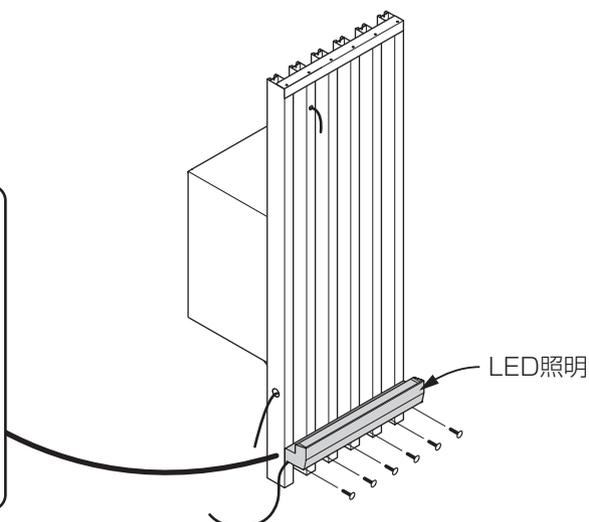
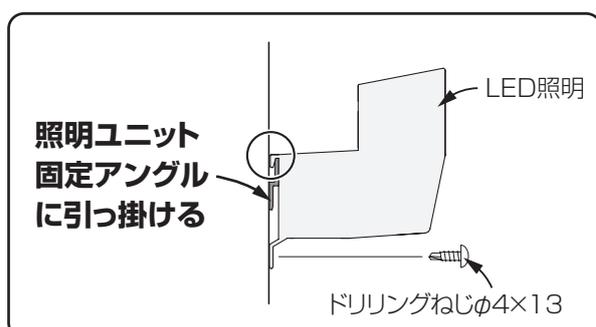
6か所ねじ固定する。(ドリリングねじφ4×13)

※取り付け高さGL～穴位置130mm



3 LED照明本体の固定

6か所ねじ固定する。(ドリリングねじφ4×13)



施工手順

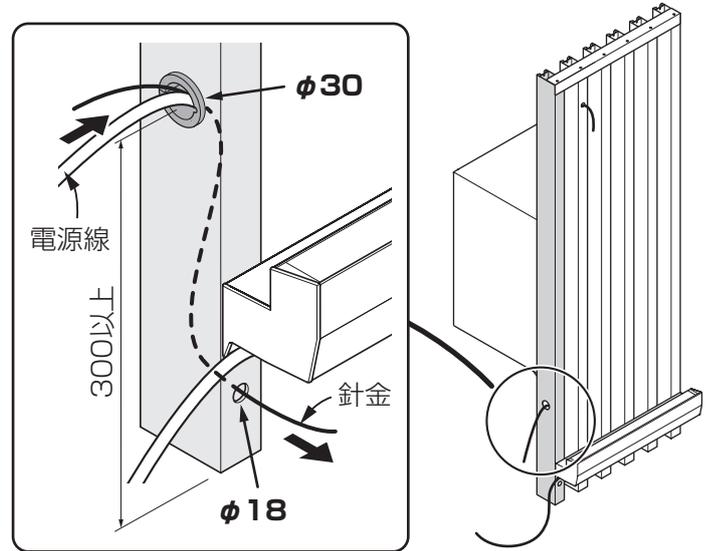
4 照明ユニットVCT線引き回し②

1. EEスイッチを取り付ける柱に、 $\phi 18$ の穴をあける。

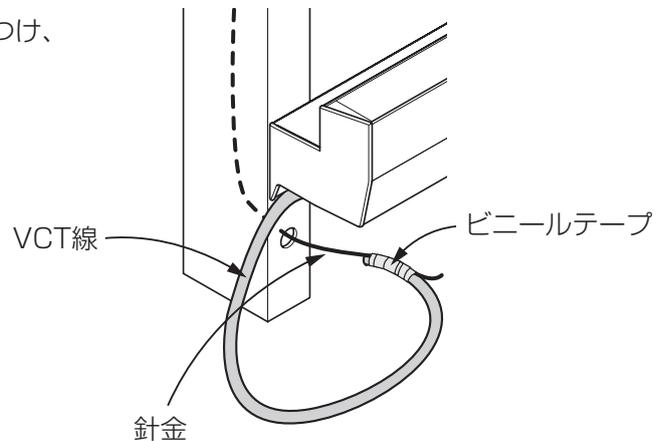
注意 ※照明ユニットの直下に穴をあけてください。

2. 針金を $\phi 30$ 穴から入れ、 $\phi 18$ 穴から出す。
(ラジオペンチ使用)

注意 ※EEスイッチがない場合は、 $\phi 30$ の穴は不要です。 $\phi 18$ の穴より電源線を引き出し、照明ユニットの配線に直結してください。直結部の保護は確実にを行い、柱中に戻してください。

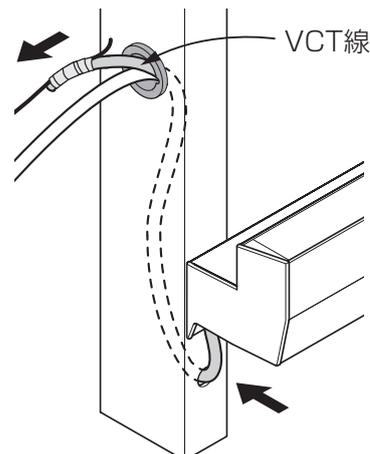


3. $\phi 18$ 穴から出した針金をVCT線の先端にくくりつけ、ビニールテープで結合部を巻く。



4. 針金(現場手配)を用いてVCT線を $\phi 18$ 穴から入れ、 $\phi 30$ 穴から出す。

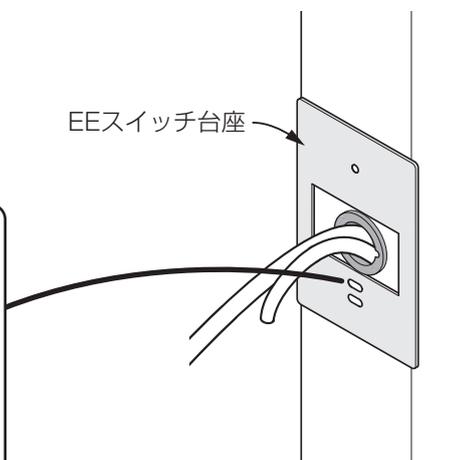
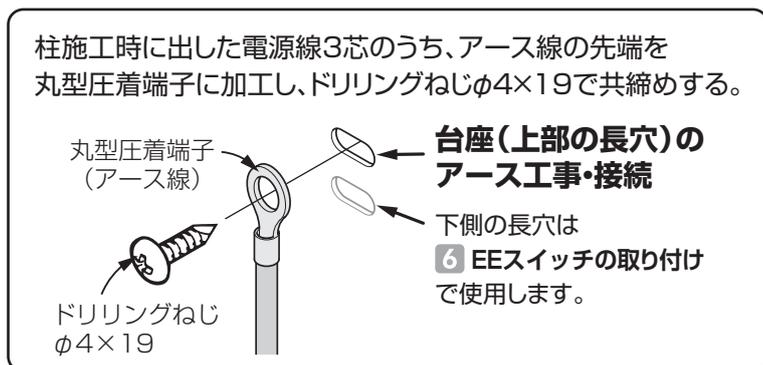
5. 針金、ビニールテープを外す。



5 EEスイッチ台座の取り付け・アース工事

EEスイッチ台座を1か所ねじ固定する。
(ドリリングねじφ4×19)

※宅配ボックスの扉がEEスイッチに干渉しないように
取り付けてください。(干渉する場合はずらしてください。)

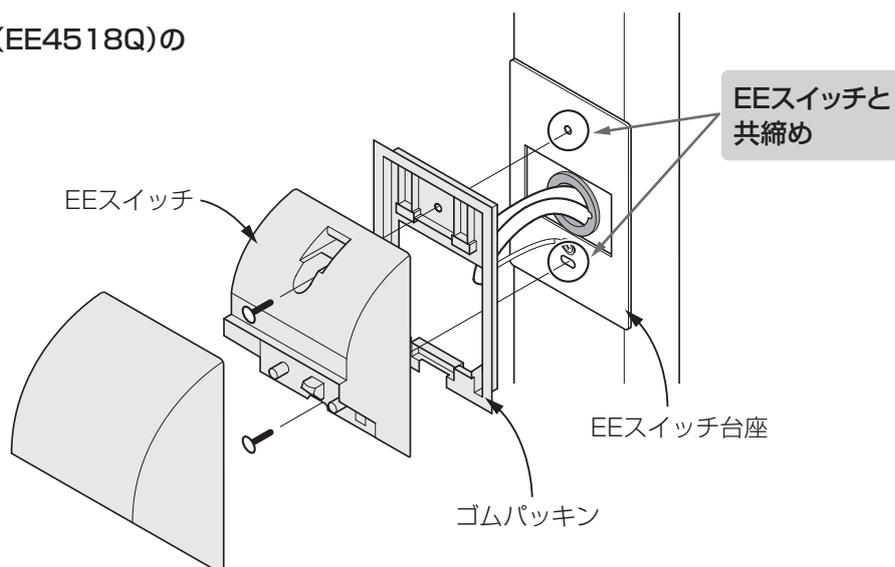


6 EEスイッチの取り付け

取り付けかたは、EEスイッチの施工説明書を参照してください。
ドリリングねじφ4×19でEEスイッチ台座と共締め固定してください。(2か所)

※EEスイッチ台座を共締めしてください。
このとき、EEスイッチに付属のゴムパッキンを忘れずに共締めしてください。

注意 ※EEスイッチはEE4518S(EE4518Q)の
使用を推奨します。



7 通電・点灯確認

施工手順

ポストの施工

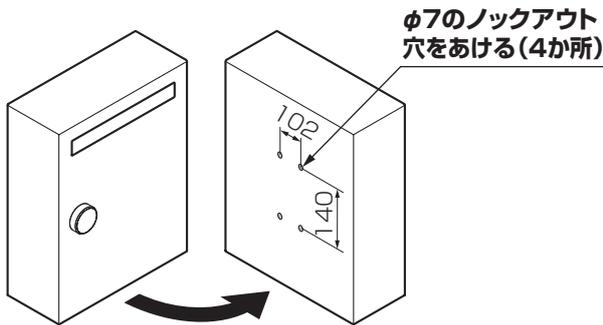
ポストの事前加工

アーキフレームタイプには次のポストが取り付けられます。

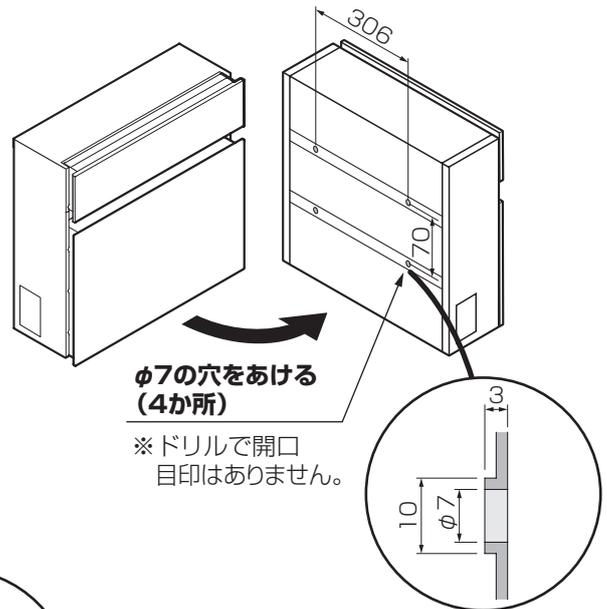
※柱ピッチは102mmです。下記の通り、柱ピッチに合うように穴をあけてください。

<正面・裏面どちらでも取り付け可能>

クリアス-FF

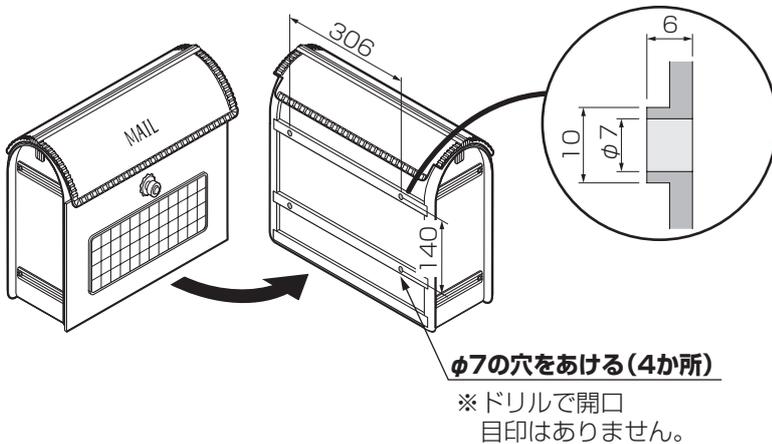


フェイスス-FF



<正面のみ取り付け可能>

ユーロバック



柱の正面に取り付ける場合

柱に直接ねじ固定してください。

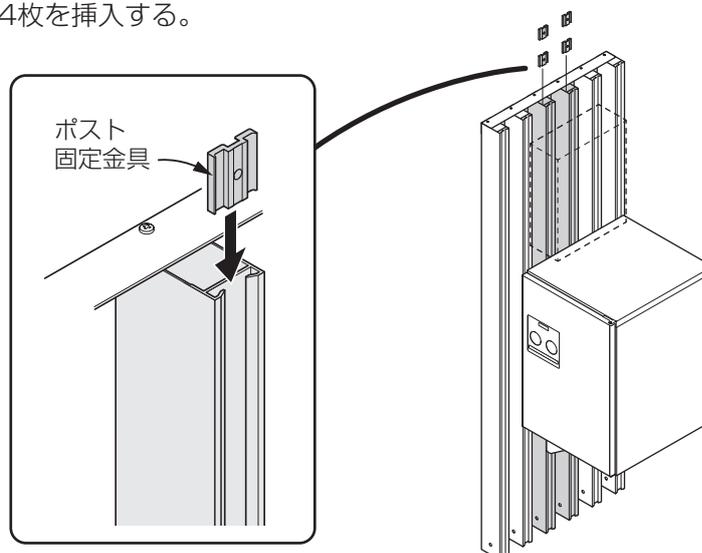
使用するねじ: ドリリングねじφ4×19 (4個) 現場手配

施工上の注意事項などは、各ポスト施工説明書を参照してください。

※ねじ固定部にはシーリング処理してください。(ねじ部からの漏水防止のため)

柱の裏面に取り付ける場合

1. 柱の溝部にポスト固定金具(L40)4枚を挿入する。



2. ポストの取り付け高さを決め、ポスト固定金具(L40)をポストの穴位置に合わせる。

3. M6×8ねじで固定する。(4か所)

※締付トルク5.2Nm以上

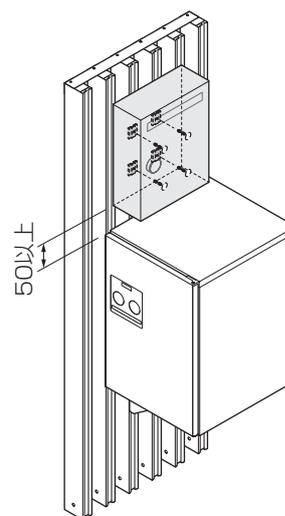
注意

- ※固定用裏板を挿入する柱に注意してください。
- ※宅配ボックスとポストの間は50mm以上あけてください。

- ※必ず止水用パッキンをねじにはめてからねじ止めしてください。



止水用パッキン

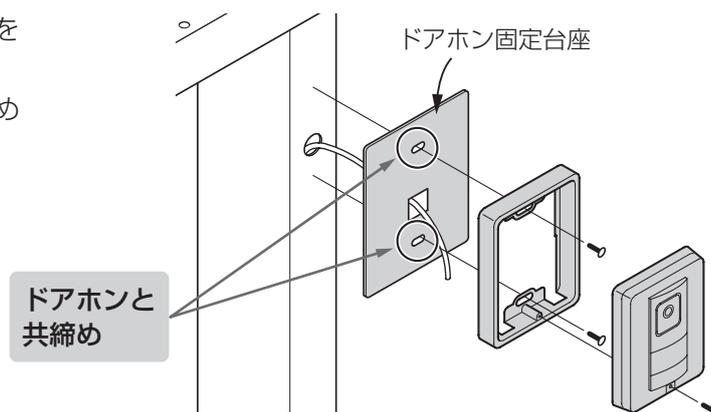


ドアホンの施工

取り付けかたは、ドアホン子機に付属の施工説明書を参照してください。

ドリリングねじφ4×19でドアホン固定台座と共締め固定してください。

※ドアホン固定台座を必ず使用し、ドアホン子機を柱に固定してください。



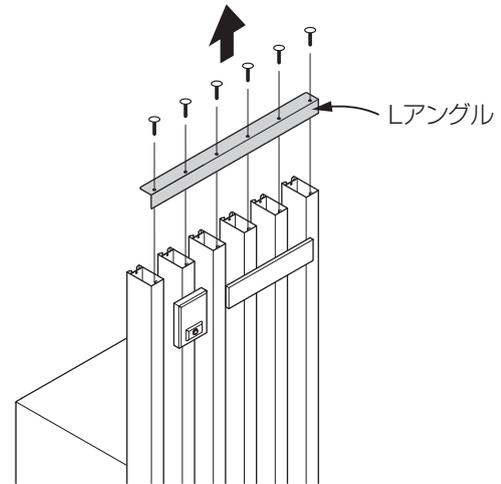
ドアホンと共締め

施工手順

Lアングルの取り外し／柱キャップの取り付け

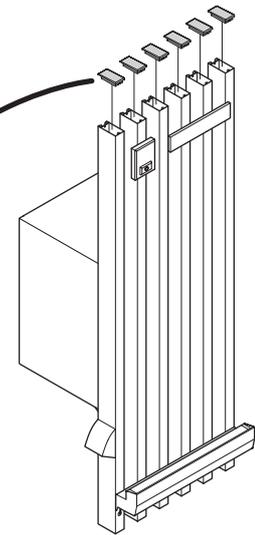
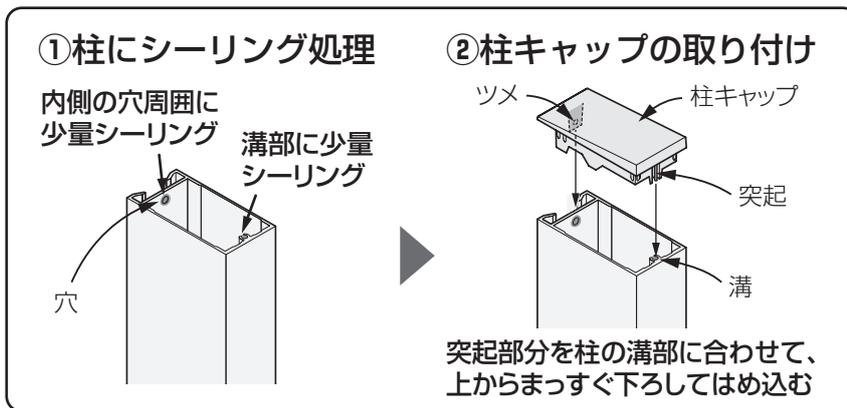
1. 上側のLアングルを取り外す。

- 取り外したLアングルは廃棄してください。



2. 取り付け方向に注意し、柱キャップを6本の柱に取り付ける。

- 柱キャップのツメが柱の穴にきちんとかみ合っていることを確認してください。
- ※がたつきや外れ防止のため必ず指定位置にシーリング塗布してください。



注意 ※1本柱の柱キャップも一度取り外し、同様にシーリング処理をしてください。

施工後の確認

- 各部のねじのゆるみがないか確認してください。
- 照明器具が点灯するか確認してください。
- ドアホン子機・カメラドアホン子機が正常に作動するか確認してください。

お願い ●カメラドアホン子機については、適正な映像範囲が得られているか、実際に作動し確認してください。

- 宅配ボックスをお取り付けの場合、扉・なつ印装置に不都合がないか確認してください。
- 取扱説明書・表札チラシ・ご注文カードをお施主様にお渡しください。

商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニック株式会社 外廻りシステムビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

©Panasonic Corporation 2021

214-EP200S
D1019-2101